

## 主な補助金

事業名	助成内容
野猪等防護柵設置補助金	<p>個人設置 設置する距離 100 m以上の防護柵が対象(野猿防護柵は 30 m以上)</p> <p>○防護柵(金網(ワイヤーメッシュ)・トタン・電気柵・網)の資材購入費の1/2または補助基本額の1/2のいずれか低い額</p> <p>○電気柵本器の購入費(上限 30,000 円)</p> <p>○野猿防護柵の購入費の2/3</p> <p>※補助基本額…金網・トタン 600 円/m、電気柵 250 円/m、網 100 円/m</p>
野猪等捕獲柵設置補助金	<p>団体設置 市内の集落営農組織、農地所有適格法人、農業生産組織、その他の団体または3人以上の共同で、設置する距離 1000 m以上または受益面積が2ヘクタール以上の防護柵が対象</p> <p>○防護柵(金網(ワイヤーメッシュ)・トタン・電気柵・網)の資材購入費の2/3または補助基本額の2/3のいずれか低い額</p> <p>○電気柵本器の購入費(上限 40,000 円)</p> <p>※補助基本額…金網・トタン 600 円/m、電気柵 250 円/m、網 100 円/m</p>
狩猟初心者講習会受講費および狩猟免許取得手数料補助金	<p>集落または猟友会で設置する有害鳥獣捕獲柵(50,000 円以上のもの)購入費の1/2を補助</p> <p>狩猟初心者講習会の受講に要する経費および狩猟免許取得に要する経費を全額補助</p>

※上記以外にも補助金があります。詳しくは有害鳥獣対策室へお問い合わせください。



# 有害鳥獣から地域を守る

市は、有害鳥獣による農作物被害を減らすために、昨年度から防護柵設置補助金などの制度拡充を行っています。今年度は引き続き制度を周知するとともに、防護と捕獲の両面から対策を進めています。

有害鳥獣対策室 ☎(21)1190

## 地域のリーダーに聞く

補助金を活用して防護柵を設置した山下さんにお話を伺いました。



やました しろお 山下 俊夫さん(巨瀬町)

ワイヤーメッシュの前は 電気柵だった

以前は、田んぼや畑のまわりに電気柵を設置していました。管理はきちんとしていたつもりでしたが、それでもイノシシに侵入されることがありました。そのたびに家にある資材を使って隙間を塞ぐなど、工夫して対策を施してきました。

ワイヤーメッシュ設置には市の補助金も出る

いろいろな対策を施しても徐々にイノシシによる被害が増えたため、知り合いの猟友会員に相談したところ、イノシシ対策に効果が高いのはワイヤーメッシュであると勧められ

ました。

また、集落で1000m以上設置した場合には購入費用の3分の2まで市の補助金が出ることも知り、集落の農地をワイヤーメッシュでまとめて防護することにしました。

設置してからイノシシ被害ゼロ

昨年7月に設置してから、イノシシ被害は一度もありません。大量のワイヤーメッシュを設置するのは大変でしたが、電気柵に比べて管理も簡単で、とても満足しています。

工夫し続けていかなければ

猟友会員からイノシシの数が増えていること、防護だけでなく捕獲も必要だという話を聞き、狩猟免許を取得しました。現在は駆除班に入り、捕獲にも力を入れています。

イノシシ以外にも、最近はシカが出るようになったり、いつかはサル対策も考えなければいけなかったりと、常に工夫を続けていく必要があると思います。地域のために頑張っています。

## 鳥獣害被害防止対策推進員として



おおた かずよし 太田 一嘉 推進員 (有害鳥獣対策室)

1年間の活動を通して

市の鳥獣被害防止対策推進員の任命を受けて1年が経ちました。この1年間で多くの現場へ赴き、さまざまな鳥獣被害を見ました。

山下さんのように電気柵を設置しているにも関わらず、イノシシに入られたという話もよく聞きます。電気柵は、線の点検や周囲の草刈りなどが定期的に必要なになるので、管理が非常に大変です。夏の初めから秋にかけては雑草の成長が早く、雑草が線に掛かって漏電したことによ

り、電気柵の効果が減少しているという例がよくあります。ワイヤーメッシュは初期費用が少し高額になりますが、設置後の管理の手間が軽減でき長く使用できるの

で、こうした被害に困っている人には大変お勧めです。

お気軽にご相談ください  
防護をするために必要なことは、どの鳥獣が農作物を食べているのかを特定することです。

イノシシに対しては効果的な防護ができるワイヤーメッシュも、サルやハクビシンなどよじ登ることが得意な鳥獣には効果がほとんどありません。また、ヌートリアは網目を抜けて、アナグマは下を掘って侵入するので、それぞれに対策を考える必要があります。出没している鳥獣の種類を見極め、農地とその周辺の環境を知ることにより、効果的な対策ができます。

有害鳥獣対策室では、研究と経験をもとにご相談をお受けしていますので、お気軽にお問い合わせください。

